

気づきの向こう側

平成30年7月3日(火)
自問清掃通信 第3号

日増しに暑さが厳しくなり、夏本番を迎えようとしていますね。

さて、1年生の皆さんは自問清掃を始めて3か月が過ぎようとしています。段取りや手際が良くなってきた分、より多くの汚れを発見することができたでしょうか。

また、2年生の皆さんは職場体験学習を経験してきました。先週の自問放送でのふり返りのように、弥北の自問清掃の3つの玉を磨くことが、職場体験や日々の様々なことにつながっていると感じ、周りへの感謝の気持ちをもって自問清掃に取り組むことができたでしょうか。

先生も弥富北中学校に来て3か月あまりです。最初は自問放送・自問清掃と今まで経験したことのない取組を目の当たりにし、自問清掃にむかう2・3年生の姿勢に感動しました。

そんな3年生の皆さんは自問清掃3年目を迎え、自分に正直に行動できる心を育み、自分自身の成長のために毎日しっかり自問清掃に取り組むことができたでしょうか。

自問清掃は15分という短い時間ですが、これを毎日続け、根気玉・親切玉・発見玉の3つの玉を磨くことで、いろいろな“気づき”の力が育まれていくと思います。

- ・進んで清掃に取り組む強い心・自分に“気づく”(根気玉)
- ・人を助ける心を磨くことで、気配りができ、周りで困っている人に“気づく”(親切玉)
- ・新しいことを見つける心を磨くことで自分の成長や友人の素敵などところに“気づく”(発見玉)。

周りの人の気持ちへの気づき、自分の本当の気持ちへの気づき、新しいことへの気づきが、自分の成長につながっていくのだと思います。そして清掃の時間だけでなく、部活のとき、勉強しているとき、何か悩んでいるときなど、いろいろな場面で3つの玉を生かす機会があると思います。気づきのレベルを上げることで、自分はもちろん周りの人も幸せにすることができると思います。自問清掃で培った3つの玉、そして気づきの力を普段の生活でも生かしていけるといいですね。

(文責：土屋 未来)

